

第67回東北・北海道地区 母子寡婦福祉研修大会に 参加して

開催日 令和5年9月2～3日
場所 秋田キャッスルホテル
函館市母子寡婦福祉会

東 佳子



道母連代表で発表の
東佳子さん

本大会の研修討議では道母連代表として「目指そう自立、活かそう支援策」とのテーマで発表させていただきました。助言者の方からは、多様な制度がある中で自分の状況や思いに合った制度を見つけて活かすことが出来て良かった、子育てしながらの資格取得への配慮として託児利用できるものがあること等、私自身はもちろん、研修に参加されている方々にも参考となる助言でした。

今回の研修大会のメインテーマは「つなごう人の輪、守ろう地域

の輪」でしたが、研修に参加させていただく度に、同じ志や環境、そして経験からのアドバイスや励ましを受けられることがあり、「参加してよかった!」と思っています。



道母連から参加の方々 東北の方々も一緒に

各地域の活動や取組みを聞くことは、自分の地域で必要とされていることは何なのか、どうすれば助けを必要としている人に必要な支援を届けることが出来るのか、今、自分たちに出来ることは何なのかということのヒントや具体的な策を得ることが出来ます。何より、人の温かさに触れることで元氣と勇気をもらうことが出来ます。国や地域、そして一人ひとりがそれぞれの役割を考え、人と人が思いやりの気持ちでつながろうと行動すること、今、自分が出来ることを小さな一歩で良いので踏み出すことから始まると思います。

令和5年度全国母子寡婦 研修大会に参加して

開催日 令和5年11月18・19日
場所 長崎県佐世保市
安平町母子寡婦会

鳥越真由美



講師の田島光浩氏

4年振りに一堂に会した開催となる研修大会参加について報告いたします。一日目は地元九州文化学園吹奏楽部の演奏に始まり、開会式、行政説明、研修討議。二日目は障がい者支援事業運営の南高愛隣会理事長で医師の田島光浩氏による講演、大会宣言・決議、地元佐世保市の3チームによるよさこい演舞、閉会式では次回開催地・富山県からの挨拶で閉幕しました。



地元佐世保市のよさこい演舞

- ①行政説明・こども家庭庁
 - ②研修討議・発表(6名)
 - ③講演・田島光浩氏
 - ④参加者の状況
 - ・道母連所属団体からは6名参加
 - ・高齢者が多かった
 - ・地区研修大会を兼ねている状況(次年も)に毎年開催が必要なのかとの疑問を感じた
 - ⑤大会参加を通して感想
 - ・当事者団体としての責任。制度活用には行政(自治体)との協力体制が必要と改めて感じました。
- ◎当事者団体として相互支援がなされていると感じた
- ◎共有したい事として
- ・こどもの意見(思いや願い)を聞く環境形成が必要
 - ・活動において青年期は支援の提供者であることを伝えていく